

【一般入試前期A・M3・M2・プラスセンター方式、一般入試センター利用前期[3教科][5教科]】

3学科併願制

各試験区分・試験日において、3学科まで併願することができます。

英米語学科の専攻の取り扱いについて

英米語学科の英米語専攻・英語コミュニケーション専攻・英語教育専攻^{*2}は、専攻ごとに合否判定を行います。3専攻をすべて志望しても、併願学科数は1とします。よって、英米語学科の3専攻の他に2つの学科を併願することができます。

*例1～4は、3学科まで併願した場合です。

(例1) 英米語学科英米語専攻/英米語学科英語コミュニケーション専攻/英米語学科英語教育専攻^{*2}/グローバルビジネス学科/国際日本学科^{*1} の3学科併願

(例2) 英米語学科英米語専攻/英米語学科英語教育専攻^{*2}/グローバルビジネス学科/国際日本学科^{*1} の3学科併願

(例3) 英米語学科英米語専攻/グローバルビジネス学科/国際日本学科^{*1} の3学科併願

(例4) 世界共生学科/グローバルビジネス学科/国際日本学科^{*1} の3学科併願

【一般入試後期、一般入試センター利用後期[2教科]】

第2・第3志望制

第3志望の学科・専攻まで登録することができます。

英米語学科の専攻の取り扱いについて

英米語学科の英米語専攻・英語コミュニケーション専攻・英語教育専攻^{*2}の3専攻をすべて志望した場合、志望学科・専攻数は3とします。合否判定は、第1志望の学科・専攻を優先します。

*学科・専攻の前の算用数字は、志望順位を示しています。

*例1～5は、第3志望の学科・専攻まで登録した場合です。英米語学科の専攻は、連続した志望順位でなくても登録可能です。

(例1) 1.英米語学科英米語専攻 2.英米語学科英語コミュニケーション専攻 3.英米語学科英語教育専攻^{*2}

(例2) 1.英米語学科英米語専攻 2.英米語学科英語コミュニケーション専攻 3.国際日本学科^{*1}

(例3) 1.英米語学科英米語専攻 2.国際日本学科^{*1} 3.英米語学科英語教育専攻^{*2}

(例4) 1.英米語学科英米語専攻 2.グローバルビジネス学科 3.国際日本学科^{*1}

(例5) 1.世界共生学科 2.グローバルビジネス学科 3.国際日本学科^{*1}

同じ第2・第3志望制でも、
英米語学科の専攻の取り扱いが
異なります。

【推薦入試(一般公募推薦)、特別選抜I・II】

第2・第3志望制

第3志望の学科まで登録することができます。

英米語学科の専攻の取り扱いについて

英米語学科の英米語専攻・英語コミュニケーション専攻・英語教育専攻^{*2}は、専攻ごとに合否判定を行います。3専攻をすべて志望しても、志望学科数は1とします。よって、英米語学科の3専攻の他に2つの学科を志望することができます。合否判定は、第1志望の学科・専攻を優先します。

*学科・専攻の前の算用数字は、志望順位を示しています。

*例1～5は、第3志望の学科まで登録した場合です。英米語学科の専攻は、連続した志望順位でなくても登録可能です。

(例1) 1.英米語学科英米語専攻 2.英米語学科英語コミュニケーション専攻 3.英米語学科英語教育専攻^{*2} 4.グローバルビジネス学科 5.国際日本学科^{*1}

(例2) 1.英米語学科英米語専攻 2.英米語学科英語コミュニケーション専攻 3.グローバルビジネス学科 4.国際日本学科^{*1} 5.英米語学科英語教育専攻^{*2}

(例3) 1.英米語学科英米語専攻 2.英米語学科英語教育専攻^{*2} 3.グローバルビジネス学科 4.国際日本学科^{*1}

(例4) 1.英米語学科英米語専攻 2.グローバルビジネス学科 3.国際日本学科^{*1}

(例5) 1.世界共生学科 2.グローバルビジネス学科 3.国際日本学科^{*1}